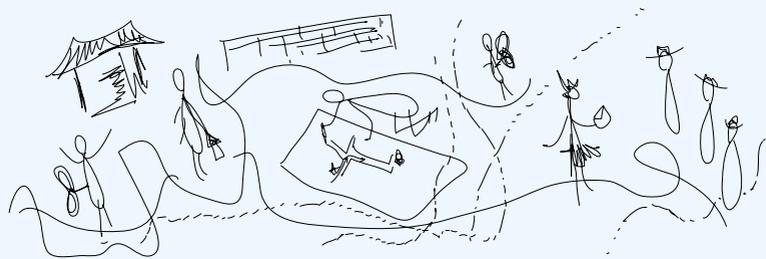


## 2 谷中妄想ツアー!!



芸術っ子の妄想に会う  
ふしぎな旅



### 谷中妄想ツアー!!とは

お寺や店先、路地や個人宅の中で繰り広げられる若手アーティストの摩訶不思議かつ渾身のパフォーマンスを巡っていくツアー企画。参加者はグループに分けられ、指定されたコースを散歩しながら、まちの日常とアーティストの仕掛けた非日常との狭間でひとときの妄想を楽しむ。

### 谷中妄想ツアー!!の魅力

#### ①まちの日常に入り込める

個人宅や、お店のバックヤードなど、普段入ることができないプライベートな場所に入ることができる。知らない道を歩き、知らない人の家に入り込み、不思議なもてなしを受けるという体験は、普通のまち歩きではできない奇妙な体験である。

#### ②何がおきても味わい深い

スタート地点で4人一組のグループに分けられ、それぞれのグループは異なるルートを案内される。参加者は約16地点あるポイント地点のなかから、指定された4地点程度しか巡ることはできないが、全てのグループが同じ最終地点に集うことにより、噂話によって全体像を把握することができる。道中に遭遇するパフォーマーによって、まちのなかのあらゆる景色が仕掛けられたものに見えてきて、何がおきても味わい深い雰囲気生まれる。

#### ③関わる全員がパフォーマー

パフォーマーだけでなくスタッフも衣装のようなスタッフ章を着けているので、参加する誰もがパフォーマーのように見え、妄想が広がる。また、「谷中妄想ツアー!!」の舞台裏には「散歩客もどき」「迷子防止スタッフ」など沢山の役割があり、どんな人でも参加できる仕組みになっている。

#### “芸術っ子”の役割

「谷中妄想ツアー!!」の味わいを生んでいるのは、パフォーマーやスタッフを含め“芸術っ子”と呼ばれる人々だ。彼らが自分自身が最も魅力的だと思う状態で、まちに堂々と存在することを励ましていくことが、「ツアー!!」を実施するうえで重要なポイントとなる。それは、その状態が「アート」かどうかという判断以前に、自分のなかに秘めた価値観を他者に表現することを強いることでもある。それは“芸術っ子”にとって勇気のいることだ。そんな彼らの魅力がまちなかのあちこちで花開いた時、一つ一つはときに奇妙きりてつなものかもしれないが、その生き生きとした姿を目撃したり、その香りが漂うなかを散歩することが参加者の妄想の種になっていく。

▷ [P74 谷中妄想ツアー!! 座談会 参照]



レ  
シ  
ピ

谷中妄想ツアー!!

# 流しそうめん型

ちょっとしかすくえなくても胸いっぱい夢いっぱい

## 必要なもの

<p><b>◆場所</b></p> <p>①スタート地点 受付、待ち合い、回り方の説明ができる広さ。ウキウキする場所</p> <p>②ポイント地点 まちなかの魅力的な場所。複数のルートで回れるように数多く設置する</p> <p>③最終地点 参加者全員が憩うことができる広さと設備。お客さんだけでなく、パフォーマーやスタッフもそれぞれ妄想を抱えて最終地点に集まるので、そこで妄想を共有、そしてさらに妄想が広げられるように場をしつらえる</p> <p><b>◆人</b></p> <p>①モノゴト担当：企画の進行、パフォーマンスの内容など、全体を把握し、進行を管理する</p> <p>②場所担当：場所の交渉やルート組みなどを行う</p> <p>③広報担当：広報、券票管理、お客さんを迎える準備などを行う</p> <p>④パフォーマー ごく個人的な時間を積み重ねてきている人で、そこで発見した魅力で他者をもてなしたい人が良い</p> <p>⑤当日スタッフ</p>	<p>案内人や受付、パフォーマーの補佐等を行う</p> <p>⑥まちの人 場所の提供者、まちの窓口および相談役</p> <p><b>◆道具</b></p> <p>①仮チラシ（仲間を集めるためのツール）</p> <p>②チラシ</p> <p>③サイン</p> <p>④チケット</p> <p>⑤当日パンフレット</p> <p>⑥遊んでいる感じがするスタッフ章</p> <p>⑦まわり方を示すツール（お客さんがまちを巡る時に参照するもの。手描きの地図や手紙を推奨）</p>
--	--



## つくりかた

<p><b>◆プロセス</b></p> <p>①運営メンバーを集める ※3~5人、奇数がポイント ※「ツアー!!」経験者と一緒にと良い</p> <p>②本番の日程を決める</p> <p>③スタート地点と最終地点の場所を決める</p> <p>④仮チラシを作る</p> <p>⑤「モノゴト担当」「場所担当」「広報担当」に分かれる</p> <p>A. モノゴト担当 ・スケジュール立て ・パフォーマー、スタッフを集める ・全体をどういうふうにしていくかを考え続ける ・まわり方を示すツールを決める</p> <p>B. 場所担当 ・ポイント地点の場所探し ・使用許可をとる ・16カ所以上見つける ・ルート組みをする</p>	<p>C. 広報担当 ・仮チラシ作成 ・デザイナーとの連絡 ・広報をし、予約を受け付ける</p> <p>⑥みんなで力を合わせて怪我がないように開催する</p> <p><b>◆当日の流れ</b></p> <p>①集合・全体ミーティング</p> <p>②パフォーマー・スタッフは担当の場所で準備</p> <p>③受付で参加者を迎えグループ分けをし、順次出発</p> <p>④参加者がポイント地点に着いたら、パフォーマーとスタッフで迎える ※参加者はまちを散歩しながら4、5カ所のポイント地点を巡る ※途中で参加者が迷ったら、ルートに待機しているスタッフがサポートする</p> <p>⑤最終地点で参加者を迎え、最後の宴で妄想の余韻を味わう</p>
--	--

